



平成 27 年 12 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ イ ネ ッ ト
 住 所 東 京 都 港 区 北 青 山 二 丁 目 11 番 3 号
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 原 仁
 (コード番号：3928)
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 嶺 井 政 人
 TEL. 03-6864-4221

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 27 年 12 月 21 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個 別】

(単位：百万円、%)

項 目	平成 27 年 12 月期 (予想)			平成 27 年 12 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 26 年 12 月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率
売 上 高	2,889	100.0	190.9	1,879	100.0	993	100.0
営 業 利 益	132	4.6	6,496.9	39	2.1	2	0.2
経 常 利 益	130	4.5	22,849.3	35	1.9	0	0.0
当期(四半期)純利益	83	2.9	728.3	15	0.8	10	1.0
1 株 当 たり 当 期 (四半期) 純利益	34 円 25 銭			6 円 46 銭		6 円 07 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭			-		0 円 00 銭	

- (注) 1. 平成 26 年 12 月期 (実績) 及び平成 27 年 12 月期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 平成 27 年 12 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数 (600,000 株) を含めた予定期中平均株式数により算出しております。
3. 平成 27 年 10 月 3 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っています。上記では、平成 26 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われていたと仮定し、1 株当たり当期 (四半期) 純利益を算出しております。

【平成 27 年 12 月期業績予想の前提条件】

(1) 当社の見通し

当社では、スマートフォンゲームの領域でゲームサービスの開発・運営を主たる業務とし、とりわけリリース済のスマートフォンゲームをゲーム事業者から買収ないしは協業という形で引き受け、再生・運営を行う「リビルド事業」を中心に事業を行っております。

また、「リビルド事業」以外に「自社ゲーム事業」として、自社で開発したスマートフォンゲームタイトルの運営を行っており、「リビルド事業」と合わせて、当社はスマートフォンゲーム事業を事業内容とする単一セグメントであります。

当社が属するスマートフォンゲーム業界はスマートフォンの誕生・普及とともに急拡大し、国内における市場規模は平成 26 年には 6,584 億円（前年比 20.4%増）、平成 27 年についても 7,462 億円（前年比 13.3%増）と、今後も増加することが予測されています（株式会社 CyberZ/株式会社シードプランニング共同「2014 年 3 月 25 日プレスリリース」より）。

このように順調に拡大するスマートフォンゲーム市場ではありますが、大手ゲーム事業者による寡占化や優勝劣敗が鮮明になりつつあるなど二極化が進行しております。そういった市場構造の変化を背景に当社が注力しているスマートフォンゲームのセカンダリ市場が急速な成長を遂げております。スマートフォンゲームのセカンダリ市場については、平成 28 年には 563 億円、平成 29 年には 1,056 億円と今後の急拡大が予測されております（株式会社シードプランニング「2015 年 7 月 15 日プレスリリース」より）。

このような状況下、平成 27 年 12 月期第 3 四半期累計期間におきましては、売上高 1,879 百万円、営業利益 39 百万円、経常利益 35 百万円、当期純利益 15 百万円を達成しております。また、平成 27 年 12 月期の業績は売上高 2,889 百万円（前年比 190.9%増）、営業利益 132 百万円（前年比 6,496.9%増）、経常利益 130 百万円（前年比 22,849.3%増）、当期純利益 83 百万円（前年比 728.3%増）を見込んでおります。

（注 1）「セカンダリ市場」とは、スマートフォンゲームタイトルの買収・協業等の二次取引により形成される市場を意味しております。

(2) 個別の前提条件

① 売上高

当社の売上高は、リビルド事業の買収型リビルド、協業型リビルド及び自社ゲーム事業の収入で構成されており、各サービスにおける運営タイトルの売上高を積上げることで売上高の予想を算定しております。

各サービスにおける運営タイトルの売上高の算定方法について、買収タイトル及び自社開発タイトルは、課金額がそのままタイトルの売上高となりますが、協業タイトルの売上高は、協業元との交渉の結果、確定しているレベニューシェア料率を課金額に掛け合わせることでタイトルの売上高の予想を策定しております。

売上高の予想を策定する上で前提となる各運営タイトルの課金額については、各運営タイトルの状況等を勘案し、当社で KPI としている 1 日にサービスを利用するユーザーの数及びユーザー一人当たりの平均課金額を掛け合わせて算定するタイトルと、現状の課金額に減衰率を掛け合わせて算定するタイトルがあります。各運営タイトルの課金額の策定において用いる各 KPI や減衰率についてはおおよそ過去 1 年間の推移等を踏まえて、タイトルごとに個別に策定しております。

また、売上高の予想を策定する上で前提となる今期の運営タイトル数に関しては、既に獲得している案件、獲得が確実な案件のみを組み込んでおり、件数は以下のとおりです。

a リビルド事業

（買収型リビルド）

平成 27 年 12 月末時点で運営タイトル数は、8 タイトル（前期末比 7 タイトル増）を見込んでおります。ただし、平成 27 年 12 月期の業績予想に組み込んでいない案件として、平成 27 年 10 月に株式会社アプリボットより 2 タイトルを買収しております。本案件については、平成 27 年 12 月期の業績へ寄与する期間が 2 ヶ月に留まり、業績予想に与える影響は軽微であるため、平成 27 年 12 月期業績予想には加味しておりません。

（協業型リビルド）

平成 27 年 12 月末時点で運営タイトル数は、7 タイトル（前期末比 4 タイトル増）を見込んでおります。

b 自社ゲーム事業

平成 27 年 12 月末時点で運営タイトル数は、2 タイトル（前期末比 1 タイトル減）を見込んでおります。

期中で獲得したタイトルが第 4 四半期に寄与してくることも踏まえ、平成 27 年 12 月期は、売上高 2,889 百万円（前期比 190.9%増）を見込んでおります。

② 営業利益及び経常利益

売上原価の主な項目は、プラットフォームに対する手数料と外注費、リビルド事業の協業型リビルドに係る人件費で構成されており、販売費及び一般管理費の主な項目については人件費（リビルド事業の協業型リビルドに係る人件費を除く）及び本社の地代家賃で構成されております。

売上原価、販売費及び一般管理費の算定については、実績値をもとに既存のタイトルと今後の獲得予定案件に基づいて個別に発生する費用を積み上げて算定しております。また、第 4 四半期には営業外費用に、上場関連費用も見込んでおります。

人件費については、人員計画に対して人件費単価を乗じて算出しております。なお、平成 27 年 12 月期末における従業員数は 147 名（前期末比 95 名増）を計画しております。

この結果、平成 27 年 12 月期の営業利益は 132 百万円（前年比 6,496.9%増）、経常利益は 130 百万円（前年比 22,849.3%増）を見込んでおります。

③ 当期純利益

特別損益については第 4 四半期において特段見込んでいる事項はございません。

以上の結果、当期純利益は 83 百万円（前期比 728.3%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年12月21日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
 コード番号 3928 URL http://mynet.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上原 仁
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)嶺井 政人 (TEL) 03(6864)4221
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	1,879	—	39	—	35	—	15	—
26年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	6.46	—
26年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年12月期第3四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第3四半期の数値及び平成27年12月期第3四半期の対前年四半期増減率については、記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、平成27年10月3日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	1,855	1,167	62.9
26年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,167百万円 26年12月期 —百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,889	190.9	132	6,496.9	130	22,849.3	83	728.3	34.25

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成27年12月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数（600,000株）を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

3. 当社は、平成27年10月3日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。このため、「平成27年12月期の業績予想」における1株当たり当期純利益については、平成27年12月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期3Q	2,603,900株	26年12月期	1,915,000株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	—株	26年12月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期3Q	2,375,579株	26年12月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は平成26年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載しておりません。
2. 当社は、平成27年10月3日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記の発行済株式数(普通株式)につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定してそれぞれ算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による各種経済・金融政策の推進により、企業収益の改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。

このような中で、スマートフォンゲーム市場の構造変化を受け、当社の事業領域であるスマートフォンゲームのセカンド市場は引き続き成長を続けております。

このような環境の中で、当社はリビルド事業での新規タイトル獲得と、既存タイトルの成長に注力してまいりました。当期に新たに協業 5 タイトル、買収 4 タイトルの計 9 タイトルの運営を開始し、それらの新規タイトルや既存タイトルへの当社運営ノウハウの注入、CroPro (クロプロ) を中心とした集客施策の実施により売上高が伸長いたしました。

当四半期会計期間末現在、買収 5 タイトル、協業 6 タイトル、自社ゲーム 2 タイトルの計 13 タイトルのスマートフォンゲームを運営しております。

この結果、当第 3 四半期累計期間の売上高は 1,879,793 千円、営業利益は 39,836 千円、経常利益は 35,495 千円、四半期純利益は 15,355 千円となっています。

なお、当社はスマートフォンゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第 3 四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より 902,790 千円増加し、1,344,906 千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金の増加 586,707 千円、売掛金の増加 257,427 千円によるものであります。

(固定資産)

当第 3 四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より 452,513 千円増加し、510,210 千円となりました。その主な内訳は、長期前払費用の増加 289,526 千円、敷金の増加 98,216 千円によるものであります。

(流動負債)

当第 3 四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より 482,567 千円増加し、681,331 千円となりました。その主な内訳は、未払金の増加 255,672 千円、短期借入金の増加 175,100 千円によるものであります。

(固定負債)

当第 3 四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より 25,760 千円減少し、6,320 千円となりました。その内訳は、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第 3 四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より 898,497 千円増加し、1,166,465 千円となりました。その主な内訳は、資本金の増加 441,572 千円、資本剰余金の増加 441,569 千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。平成 27 年 12 月期の通期の業績見通しにつきましては、平成 27 年 9 月 25 日の取締役会において決議した予測であります。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

		当第 3 四半期会計期間 (平成27年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		874,764
売掛金		377,846
その他		92,948
貸倒引当金		△653
流動資産合計		1,344,906
固定資産		
有形固定資産		78,809
無形固定資産		23,858
投資その他の資産		
敷金		109,787
長期前払費用		290,338
その他		8,416
貸倒引当金		△1,000
投資その他の資産合計		407,542
固定資産合計		510,210
資産合計		1,855,116

(単位：千円)

当第 3 四半期会計期間
(平成27年 9 月 30 日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	111,122
短期借入金	175,100
未払金	304,883
未払法人税等	19,273
賞与引当金	9,718
その他	61,233
流動負債合計	681,331
固定負債	
長期借入金	6,320
固定負債合計	6,320
負債合計	687,651
純資産の部	
株主資本	
資本金	625,632
資本剰余金	606,189
利益剰余金	△64,356
株主資本合計	1,167,465
純資産合計	1,167,465
負債純資産合計	1,855,116

(2) 四半期損益計算書
第 3 四半期累計期間

	(単位：千円)
	当第 3 四半期累計期間 (自 平成27年 1 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)
売上高	1,879,793
売上原価	1,290,778
売上総利益	589,015
販売費及び一般管理費	549,179
営業利益	39,836
営業外収益	
受取利息	69
その他	9
営業外収益合計	79
営業外費用	
支払利息	2,534
本社移転費用	1,299
その他	585
営業外費用合計	4,419
経常利益	35,495
特別利益	
子会社清算益	2,863
特別利益合計	2,863
税引前四半期純利益	38,359
法人税等	23,003
四半期純利益	15,355

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年1月23日付で、B Dash Fund 2号投資事業有限責任組合、SMBCベンチャーキャピタル2号投資事業有限責任組合、新生企業投資株式会社から第三者割当増資の419,390千円の払込みを受けました。また、平成27年6月15日付で、グリー株式会社、新生企業投資株式会社から第三者割当増資の463,750千円の払込みを受けました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金が441,572千円、資本準備金が441,569千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が625,632千円、資本剰余金が606,189千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、スマートフォンゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

1. 株式分割及び単元株制度

平成27年9月8日開催の取締役会決議に基づき、平成27年10月3日付をもって株式分割を実施いたしました。また、平成27年10月3日付で単元株制度を導入しております。

(1) 株式分割及び単元株制度導入の目的

株式市場に向けての資本政策の一環で株式の流動性の向上を図ることを目的として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施し、単元株制度を採用することといたしました。

(2) 株式分割の概要

① 株式分割の方法

平成27年10月2日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式を1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

② 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	26,039株
今回の分割により増加する株式数	2,577,861株
株式分割後の発行済株式総数	2,603,900株
株式分割後の発行可能株式総数	10,000,000株

③ 分割の効力発生日

効力発生日 平成27年10月3日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

これによる影響については、「1株当たり情報」に記載しております。

(3) 単元株制度の概要

平成27年10月2日開催の臨時株主総会において単元株制度の導入を行う旨の決議をしており、平成27年10月3日付で単元株制度を導入し、1単元の株式数を100株としております。